

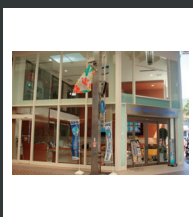
16面マルチによるフルHDディスプレイをショールームに採用。大型の高精細映像により、集客・加入促進など効果をあげる

お客様のニーズ・課題

創立30周年にあたり、加入促進・サービス拠点としてショールームを開設。そのシンボルとなり、さまざまな情報配信を行うための大型ディスプレイを設置したい。

導入効果

FWD-S47H1による16面マルチディスプレイ（約200インチ相当）により、クリアで美しく、迫力ある映像配信を実現。集客から商談へつながるなど効果をあげている。



九州テレ・コミュニケーションズ株式会社様

有線テレビジョン放送事業および電気通信事業を展開する九州テレ・コミュニケーションズ様は、1978年に株式会社として設立（2002年に現社名に改称）、2007年に創立30周年を迎えました。現在は長崎県佐世保市に本社を置き、自主制作番組や「顔の見える」プロバイダサポートなど、独自の地域密着型総合情報サービスを提供しています。佐世保地区では「テレビ佐世保（TVS）」、春日（福岡）地区では「ケーブルステーション福岡」の愛称で親しまれています。



九州テレ・コミュニケーションズ株式会社

営業部 課長 佐世保ショールーム店長 増田恒夫様と、放送局長 末次博己様にお話を伺いました。

導入背景

大型ディスプレイを設置し、新設ショールームのシンボルとしたい。

当社はケーブルテレビ事業や、固定電話を含めたインターネット事業などを展開しています。創立30周年を迎えるにあたり、これまで当社をご支援くださったお客様にご恩返ししたいという気持ちから、加入促進・サービス拠点として佐世保市内中心部にあるアーケード街にショールームを開設しました。従来は戸別訪問によるサービス案内やサポートを行っていましたが、お客様が気軽に立ち寄ってご相談いただける場所を提供したかったのです。現在では、サービス案内から新規受付、ご加入いただいているサービスサポート、料金のお支払い、ケーブルインターネットの無償サポートなど、総合サービス窓口としてご利用いただいています。

このショールームのオープンにあわせて、店舗のシンボルとなる大型ディスプレイを設置することになりました。（増田課長）



ショールームのシンボリック存在となった16面マルチディスプレイ

選定理由

壁面を有効活用しFWD-S47H1による16面マルチ画面構成を採用。

当初は、100インチクラスのディスプレイをショールームの外壁面に向けて設置する構想でした。ショールームの建築中に現地で確認を行い、外光が差し込んで画面が見えにくくなるのではないかと、サイズのインパクト感に欠けるのではないかと懸念が生じました。その際に、いつもお世話になっている特約店さんからソニーの47V型フルHD液晶ディスプレイ FWD-S47H1を紹介され、ショールーム内の壁面に9面のマルチ画面を構成してはどうかと提案されたのです。幅19mmのスリムベゼルを採用したディスプレイであること、複数のディスプレイを1面として扱ったり、分割して映像表示するのが可能なこと、特約店さんへの信頼などから、FWD-S47H1を採用することになりました。

その後、9面マルチは最終的に16面マルチとなりました。9面マルチの現物大の型紙を用意し、実際の壁面にレイアウトしてシミュレーションしたところ、予想していたよりも小さく感じたのです。せっかくの壁面スペースを活かすためにも、またショールームの目玉としてインパクトを与えるためにも、もうひとまわり大きくしようという社長の判断もあり、16面マルチ画面構成が採用されました。（増田課長・末次放送局長）



佐世保サンプラザアーケード
右奥がショールーム



ショールームの壁面を有効活用

● 導入効果

高精細映像が集客を実現。加入促進ツールとしての実績も得た。

2008年11月17日に、ショールームがオープンしました。16面マルチディスプレイについて特別な告知は何もしていなかったのですが、外からでもクリアに見える高輝度・高精細な映像ということもあり、アーケード街の通行人や交差点で信号待ちをしている方々が、「これはなんだろう?」という表情で見えいらっしゃいました。また、オープン後に、ディスプレイに興味を引かれてショールーム内に入ってもらったお客様が、当社がケーブルテレビ局であるを知って加入なさったというケースもあります。さらに「50インチテレビを所有しているのだが、デジタル放送は綺麗に映るのだろうか」と質問なさったお客様に対し、16面マルチディスプレイで実際の放送をご覧いただいたこともあります。16面マルチディスプレイは約200インチに相当するのですが、「このサイズでこれだけ綺麗に表示されるなら問題なさそうだね」と納得したうえで、新規にご契約いただきました。



ショールームの外からでも見ることができる

現在表示しているコンテンツは、当社のサービス案内のほか、ケーブルテレビ局としての自主制作番組、民放やBS放送、佐世保の名所や夜景の静止映像などです。先日はWBCの試合や、選抜高校野球の決勝戦を放送したところ、数十名の方々にパブリックビューイングとして楽しんでいただきました。今後、待ち合せスポットなどになっていく可能性もありますね。お客様に道案内する際にも、「大画面のあるショールームです」とお伝えするとすぐに理解していただけます。(増田課長)

画面表示は、全画面や16分割、4分割にするほか、右側9面を1つとしてBS放送などを表示し、残る左4面および下4面に広告を表示するなど、臨機応変に切り替えています。切り替え操作はPCで行います。

16面ディスプレイそれぞれに異なるIDが振られているため、リモコンに各IDを登録することによって、遠隔で画質調整などが行える点が便利です。高い位置にあるディスプレイを調整していくのは大変な手間ですから、この機能は高く評価できると思います。欲をいえばベゼル幅はもっと細い方がいいと思いますが、全体をぱっと見たときにはほとんど気になりません。実は、約200インチ相当のディスプレイサイズは、いかにハイビジョン放送でも劣化を感じるのではないかと考えていました。予想に反して映像はクリアで美しく、迫力があります。色合いがムラなく均一に表示されるのも利点ですし、ひずみやブレがないので自然に見えます。(末次放送局長)



16分割の映像表示



16面を使った1画面表示



表示の切り替え、スケジューリングなどはPCで操作

● 今後の展望

集客効果をあげるコンテンツを計画。制作コンテンツのHD化も考慮。

今後は、16面マルチディスプレイをどのように有効活用していくのが課題です。ここにいらして下さったことが商談につながる可能性もありますから、ショールーム内で開催するイベントを大画面に中継したり、自主制作番組やスポーツ中継など、集客のための工夫や演出を考えたいと思います。「ここにすれば新しい情報が得られる」という、情報ステーションのような立場を目指します。(増田課長)

自主制作番組は、現在SD画質で制作しています。BS放送や地上波HD放送に比べて、どうしても見劣りするように感じてしまいます。より綺麗な画質の番組を制作したいという欲が出てきました。早期にHD化したいと考えています。(末次放送局長)



パブリックディスプレイの商品情報をご覧ください。

sony.jp/public-display/

ソニーマーケティング株式会社 / 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

商品に関するお問い合わせは

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333

● 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 0466-31-2588

● FAX 0120-333-389

● 受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、および年末年始は除く)

2009年4月現在